



令和7年度を迎えて

医療法人つくし会 理事長

南国病院 院長 中澤 宏之

新年度を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。令和7年度はつくし会にとって大きな飛躍の年となりそうです。1月16日に、消化器内科が専門の中城一男先生が当院内科部長として着任しました。ご存じの通り、高知県を代表する内視鏡診断・治療のスペシャリストであり、これまでも沢山の地域の患者様を診療してきた信頼の厚い先生です。中城先生の就任により、当院の内科機能が更に強化され、消化器内科だけでなく幅広くかかりつけ医として地域の皆様にお役に立てる病院になると信じています。

また、これまでの当院の専門領域であった脳神経内科、精神科にも、それぞれ若い優秀な先生をお迎えすることができました。脳神経内科の専攻医である三好利昌先生、精神科の後期研修を終了した小松大祐先生が4月に当院へ着任し診療を開始しています。いずれの診療科も患者さんの数が増え、外来予約等でお待たせすることがありましたが、医師が充実することでできる限り早く外来・入院治療が提供できるようになりました。どうぞお気軽にご相談ください。

もう一つの大きな取り組みとしては、2月17日から新たな電子カルテ「MALL4(Medical Information System for All version4)」を導入しました。これまでの電子カルテ「MALL3」に多くの機能を充実させたバージョンアップ版となります。特に精神科診療機能、栄養給食関連機能が充実し多様な医療文書に対応できる仕様となりました。新たな電子カルテにおいて多職種連携・協働が進みそれぞれの患者さんに手厚い医療が施されることを期待しています。

令和7年4月に当院は開院56周年を迎えました。56年間という長い間病院を継続、発展できたのはこれまで勤めて頂いた職員の皆さん、地域や関係機関の皆様のお陰と深く感謝しております。この1年間で新たに31人の職員を迎えることができました。新年度を迎えて新たな仲間と一緒に各部署が活性化することを期待しています。4月16日には、恒例の開院記念院内発表会を開催しました。この発表会は、日頃聞くことのできない他部署の取り組みや研究内容を発表、聴講することで院内連携の促進につなげたい、自由な発想で科学的、学問的な視点を持って日々の診療に当たってもらいたい、日頃の診療・業務の成果を発表してもらいたいという思いで、平成23年度より始めました。今回で12回目を迎えたのですが、今年は5つの部署からそれぞれ興味深い演題を発表して頂き、例年以上に活気のある発表会となり感謝しています。

新たな診療体制で地域の皆様に貢献できるよう、職員一同努力してまいりますので、令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。

目次

三好利昌先生からのご挨拶	2
小松大祐先生からのご挨拶	2
「月刊新医療」様からの取材を受けて	3
第12回 開院記念院内発表会	4
第26回 ほっとはあとポッチャ大会	6
第24回 文化交流会	6
第77回 高知市展	7
南国病院健康スタンプラリー	8
新たなスタート	8
新人集合研修会	10
ニューフェイスの紹介	10
診療のご案内	12

ご挨拶

南国病院 脳神経内科 三好 利昌



はじめまして。2025年4月から南国病院で脳神経内科として勤務している三好利昌と申します。

3月まで高知大学医学部附属病院脳神経内科で勤務しており、脳神経内科急性期疾患の診断・治療および内科的管理などに携わってきました。4月からの南国病院での勤務では神経難病の方の病棟対応や外来業務を行っています。大学病院勤務では急性期の対応に終始していましたが南国病院では大学病院など高次医療機関で診断を受けた方の「その後の人生」と向き合う必要が出てくると感じています。急性期対応や精査目的の入院などは間違いなく必要な医療ですが、リハビリやその他包括的なケアを必要とするいわゆる慢性期における患者さん対応は急性期のものとは異なる側面で重要な医

療です。患者さんの「人生」に対して大学病院よりも近い距離で関わることになる業務を行っていくにつけ、これまで自分が携わってきた医療に対する疑問点も様々浮かんでくるようになっていきます。これから私自身がどのような医療を行っていくのか、悩みつつ決断していこうと考えています。

しかしこのようなことを考えながらも日々の業務に追いついていないのが現状でもあり、他のドクターやコメディカルの方々の支えがあってようやく業務を行っています。看護師さんを代表とするコメディカルの方々との連携も大学病院以上に密におこなっていかなければならない環境でもあり、日々様々なことを勉強させて頂いております。

至らないところが多いとは思いますがこれからもどうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶

南国病院 精神科 小松 大祐

こんにちは。令和7年4月より赴任となりました精神科医の小松です。よろしくお願い致します。この度、皆様にご挨拶させて頂く機会を頂きましたので、軽くですが自己紹介させていただきます。

生まれも育ちも高知県高知市です。大学進学や就職の際には県外へ出ることも考えましたが、生まれ故郷である高知県のとある文化に幼い頃より夢中でして、そのために高知県に残ることを決意しました。今でもふとたまに、一度くらいは県外に住んでみたかったなと思うことはありますが、自分の選択に後悔はしていません。

現在は精神科医として働いておりますが、研修医の頃は色々な科に惹かれそれはそれは迷いました。最後の決め手は「無人島で一人で勉強してもおもしろいと思えそうだから」という理由でした。今でも精神科にしてよかったなと日々感じながら働いております。精神科は同じ疾患でも主訴が一人一

人違うことも医学的好奇心をくすぐる側面であると思います。その分、画一的な枠にはまった見方ではなく、患者様一人一人をしっかりと診ることが大切だと考えております。

同じ精神科といっても地域や病院によって患者様の層は結構異なります。私が今まで働いていた病院と当院では主に入院患者で少し患者層が違います。今まで培った経験が生きることもあれば、そうではない時もあります。しかしだからこそ学べる機会でもあるといえます。まだまだ若輩者でありますので、皆様にご迷惑をおかけする事もあると思いますが、一緒にこの地域の医療を活性化させることができたら良いなと思っております。また、患者様におかれましては、「何かあった時に気軽に相談しやすいお医者さん」を目指して日々対話を重ねていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。

「月刊新医療」様からの取材を受けて

2025.5.12(月)
南国病院



事務部長 中川 博文

当院は、「医療法人つくし会 南国病院での診療の現況—電子カルテの運用を中心に」というテーマで「月刊新医療」様から取材を受けました。取材内容は、表紙・巻頭カラーグラビア企画「COVER STORY」のページに掲載されます。この企画は、先端の医療機器・システムを活用する医療施設を紹介するものであり、今回は当院の電子カルテの運用に焦点を当てて取材が行われました。

電子カルテは、患者様の診療情報を迅速かつ正確に管理するための重要なシステムです。当院では、電子カルテシステムを導入し、診療の効率化と質の向上に努めています。この取材を通じて、電子カルテの運用に関する当院の取り組みや成果を広く紹介することができることを嬉しく思います。

取材には、院長をはじめ、主に精神科関連の部署が対応し、電子カルテの導入背景や具体的な運用方法、そしてそれによる診療の変革について詳しくお話ししました。取材の詳細は、ぜひ「月刊新医療」2025年7月号をご覧ください。

当院はこれからも、患者様に最高の医療サービスを提供するために努力を続けて参ります。今後とも南国病院をよろしくお願いいたします。

第12回 開院記念院内発表会

2025.4.16(水)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール



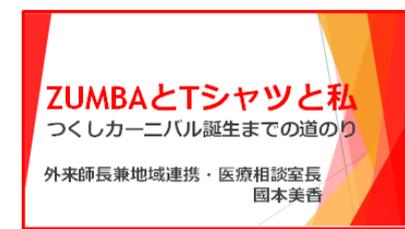
学術研修委員会委員長

副院長・精神科部長 玉元 徹

今回もバラエティに富んだ発表で、みなさん楽しめたのではないのでしょうか。

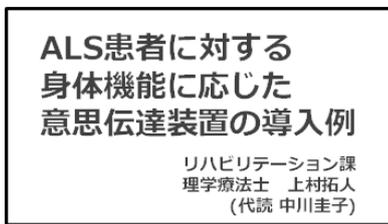
最初は、國本美香師長の「ZUNBAとTシャツと私、～つくしカーニバル誕生までの道のり～」というタイトルでの発表でしたが、私が歌のタイトルのような題名だと指摘してもフ

ラーのみなさんの反応は知る人ぞ知るという感じでしたので、笑う人が少なかったように思



ます。やはり年代でしょうかねえ。内容は至ってまじめな話が多くありまして、みんなの健康、ストレス発散のための機会としてつくしカーニバルがあるものと理解しました。人によって好みはあると思いますが、体を動かすこと自体は大事なことです。できれば毎週できるといい活動になると、常々私は思っています。

二つ目の演題は、「ALS患者に対する身体機能に応じた意思伝達装置の導入例」という



タイトルで、理学療法士の上村拓人さんの発表でした。これはALSの患者さんの立場に自分の身を置いた想像をした時に、本当にどんな装置があればうれしいかを真剣に考えさせられました。誰がいつ発病し

てもおかしくないで明日は我が身として考える機会になりました。私にとってもALSに関心のあるみなさんにとっても、とても貴重な発表だったと思います。

三つ目の演題は「当院精神障害者アウトリーチチームつくしの事業報告」というタイトルで



ソーシャルワーカーの山本真里さんの発表でした。山本さんは相変わらずイラストを匠に使用して見る人を和ませる工夫もしていましたし、内容も外来では手の届かない個人の自宅に赴いての活動ですので、非常に生々しくその場が想像しやすい発表だったと

思います。精神障害で引きこもって受診できない人が大勢いらっしゃると思いますが、専門のチームが一步踏み込んで助けをさしよることはこれからの社会で重要になっていくと思います。ただ、オンラインの診療がどんな貧しい家庭でも受けられる世の中になれば、少しはアウトリーチの苦勞も緩和されるのではないかと空想しました。それまではみなさんの努力が重要になってきますので、これからの活動も期待したいと思いました。



四つ目の演題は「様式9の作り方」というタイトルで、中川博文事務部長の発表でした。正直勉強不足で、恥ずかしいのですが、内容はさっぱりわかりませんでした。私にとって一番苦手な分野でしたので、いつかわかりやすく教えていただければありがたいと思いました。こんな感想で申し訳ありません。みなさんはよく理解されている方もいらっしゃると思いますので、事務部長の指導の通りやっていただければ良いのではないかと思います。

様式9の作り方

事務部長 中川 博文



五つ目は演題ではありませんが、看護部チーム会活動の振り返りがありまして、みなさんそれぞれ頑張ってきた内容を発表されておりましたが、私が無茶ぶりで「コロナ禍で困ったこと、工夫されたこと、何かありましたら、感想でもなんでもいいですので、一言お願いします」という主旨の質問をしてしまいました。それでも、みなさんが適確に私の想像以上の答えをしてくださって、さすがメンバーの代表だと感心しました。頼もしい職員ばかりでした。

看護部チーム会活動の振り返り

看護部
各チーム会代表



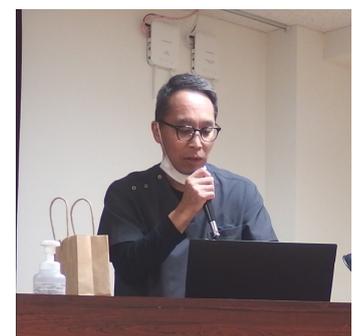
六つ目は今回の目玉とも言えるご発表で、「難治性偽膜性腸炎に便移植が著効した3症例」というタイトルで中城一男内科部長に御講演いただきました。座長も私から啓輔先生に代わっていただいて、麻植啓輔先生の座長がまた中城先生のユーモアをさらに面白くしていただいて、病気の深刻さからは印象が少々違いますが、楽しい御講演でした。中城先生の先進的な便の移植治療については、日本で最初に試みられたということで、すごく勇気のある大胆なお方だと感心いたしました。御講演の仕方もうごくわかりやすくよどみない話口調で、みなさんも楽しく聴くことができたのではないのでしょうか。これからが楽しみな先生に来ていただいとうれしく思いました。

難治性偽膜性腸炎に便移植 (Fecal microbiota transplantation: FMT) が著効した3症例

内科部長 中城一男



以上、今回長くなりましたが、精神科部長玉元徹の感想でした。



第24回 文化交流会

2025.2.26(水)

高知県民文化ホール(グリーンホール)

主催:高知県精神保健福祉協会

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

デイケアでは2025年2月26日に「県民文化ホール グリーンホール」で行なわれました「高知県精神保健福祉協会主催第24回文化交流会」に参加してきました。コロナウイルスの影響により5年振りの開催となりましたが、県内7施設から10組が参加され合唱部門・カラオケ部門にて皆さん素晴らしい発表を披露されていました。当院デイケアからも2名がカラオケ部門に参加しステージ上で歌声を披露しました。デイケアでは毎週金曜日にプログラムで「カラオケ」を取り入れています。2カ月前から練習に取り組まれておりその成果を十分に発揮されていました。応援に駆け付けたメンバーも「2人とも最高やった」と話されていました。ステージ発表が終わると「お楽しみ抽選会」が行なわれ観客の皆さんにも笑顔が見られていました。今回コロナ禍を開け久しぶりの再開となりましたがデイケアのメ

ンバーさんからも「またやって欲しい」と肯定的な意見が聞かれました。今後ともデイケアとして様々なイベントや行事により参加していきたいと思いました。



メンバーH・Yさんより

本番に向けてデイケアのカラオケと姉のスマホで練習しました。出場した皆さんが上手で感動しました。緊張したけれど最後まで歌えて嬉しかったです。また出たいと思いました。

第26回 ほっとはあとボッチャ大会

2025.3.6(木)

高知県立障害者スポーツセンター春野

主催:精神保健ボランティア ほっとはあと

精神科デイケア室 看護師 永森 千恵

3月6日にほっとはあとボッチャ大会がありました。ボッチャは人気が高く日頃からデイケアではコミュニケーションとして楽しめる方や、勝利に向けて熱心に練習される方など様々です。当院から3チーム10名が参加しました。「チームONE」「メビウス」は残念ながら1回戦で敗退。また大量点数を取られたチームもあり、あまりの点差に笑うしかない笑顔でベンチに戻っていました。チーム「クラリス」は見事なボールコントロールで1回戦を勝ちましたが2回戦で敗退されました。やや淋しい雰囲気漂いながら、試合後は勝った相手チームの試合を応援され、他の施設のレベルが上がっていると感心されていました。その後も練習試合に呼ばれボッチャを時間いっぱい楽しめました。表彰式では「すごかったね」賞や参加賞のお土産



を頂き、次回の大会に向けて楽しみながら練習を頑張っています。

メンバーS・Kさんより

大会は楽しかった。勝てなかったことは悔しかった。練習の成果は出すことはできたし、緊張はする事はなかった。相手チームが上手だった。次は優勝を目指して練習をしていきたい。

第77回 高知市展

2025.5.24(土)～2025.6.8(日)
高知市文化プラザ かるぽーと

主催:高知市展代表委員会・公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市

精神科デイケア室長 精神保健福祉士 竹村 哲也

毎年出展している高知市展。今回の共同作品テーマは「十人十彩」。製作への参加者には考え方や好みなど各自それぞれ異なり、10人の人がいれば、10人の個性やカラーがあります。作品作りの方向性を決めた後は色の配色、ダンボールの切り方、パネルへの貼り付け方などは自身の考えで取り組んでもらいました。「みんなちがって、みんないい」という名言を作品に込めています。また、個人では1名の方が出展し、「生命の誕生」をテーマにした不思議な魅力を作品に表現しています。



共同作品
「十人十彩」

メンバーR・Yさんより

「いい作品に出来上がったと思う。次回作もいいのが出来たらいいな。」

メンバー 多治川 勝さんより

作品に生命を込めているのを最近2～3年頑張っている。この作品では卵が一番難しかった。



個人作品
「生命の誕生」



アート講師山中雅史 先生の作品
「光景」

職員の健康増進を目的として「健康スタンプラリー」の運用を開始

外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 國本 美香

南国病院健康スタンプラリー運用開始のきっかけは、つくしカーニバルのアンケート用紙に、「スタンプラリーのように参加したらポイントが貰え、ポイントを集めたら景品が貰える」ようにしたら、参加者が増えるのではないかと意見がありました。自分がスタンプカード大好きな人間なので、これはおもしろいと思い企画を考え始めました。

昨年作った南国病院Tシャツとトートバッグが大好評で第二弾も作成。Tシャツやバッグが欲しいという声が多かったので、無料で貰えたら嬉しいかなと思い組み込んでみました。スタンプラリーカードも病院オリジナルTシャツデザインの入ったかわいいカードができあがりました。

対象イベントは今の所、つくしカーニバル1P、放課後ズンバ1P、癌検診を受けたら1P、リレーマラソン2P、龍馬マラソン3Pになっています。

ポイント3倍デーなども考えていますので、皆さんのアイデア募集中です。



また、これが癌検診を受けるきっかけになれば幸いです。

今まで参加していなかった職員もスタンプを一緒に集めて健康になりましょう！

新たなスタート

【 臨床検査室長の抱負 】

臨床検査技師 村岡 直美

2025年4月より、検査室長に任命されました村岡と申します。

南国病院に勤務して、1年が過ぎましたが、まだまだ不慣れな点が多く、至らない点があると思いますが、お二人の歴代室長のお力をかりて、より良い検査室の運用に努めて参りたいと思います。

2025年2月から、電子カルテのMall4へのバージョンアップ



に伴い、生化学検査のバーコードオンラインシステムの稼働により、業務の簡略化や誤測定が回避され、また自動血球分析装置をリニューアルして頂き、測定時間の短縮、業務の効率化が図れました。

今後の課題は、検査結果の手入力によるヒューマンエラーの回避や様々な業務の簡素化を模索することです。

自己研鑽は、心エコー・下肢エコーの習得につきます。

これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【 作業療法室長代行の抱負 】

作業療法士 岡田 はる佳



このたび、作業療法室の室長代行を務めさせていただくことになりました。当院に入職5年、作業療法士の岡田と申します。日々2人の子どもを育てにぎやかな毎日を過ごしなが、現場でも笑顔や温かさを大切にしていきたいと思っています。当院では主に神経難病の患者様を担当させていただくことも多く、また長期療養の患者様も多い中で、作業療法室が、患者様にとって「来るのが楽しみになる場所」「ほっとできる、楽しく温かい場所」になるよう心がけ、チームの皆と一緒に工夫していきたいと思っております。まだまだ力不足な点ばかりですが、みなさまのお力をお借りしながら、安心と元気があふれる作業療法室を目指して頑張りますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今後、神経難病病棟の師長として、専門知識を持ち、患者様や家族に適切なケアとサポートを提供できる事を目標に、病棟チームを統括しながら、本年度の病棟目標である「患者さんの状態に合わせた質の高いケアとサービスを行なう」という目標の実現に努力いたします。力不足でご迷惑をおかけする事があるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【 院内感染管理者の抱負 】

看護師 北村 篤子



このたび、初めて院内感染管理者としての役割を担うこととなり、身の引き締まる思いです。感染対策は患者様の安全を守るだけでなく、職員全員が安心して働ける環境づくりもつながる大切な取り組みです。初心を忘れず、一つひとつ学びながら、現場の皆さんと協力し、無理のない感染対策を進めてまいります。丁寧な情報提供や支援を心がけ、現場の声に耳を傾けながら、誠意を持って努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【 看護主任の抱負 】

2病棟看護師 井上 奈緒子



4月より2病棟看護主任を拝命しました井上です。他院での経験を経て、南国病院に入職しました。そして神経難病看護に携わり、日々看護の難しさを痛感しています。

周りのスタッフのサポートを受けながら、他職種との連携により患者様の身体的・精神的支援に取り組んでいます。まだ主任として1ヶ月であり、指導を受けつつ主任業務を行っているところです。まだまだ未熟ですが、責任感を持って努めさせていただきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。また、安全安心の療養生活、寄り添った看護の提供ができるよう自己研磨に励み、病棟スタッフと共により良い看護ができるよう努めていきたいと思っております。

【 看護師長の抱負 】

3病棟看護師 川村 直喜



4月より3病棟看護師長を拝命いたしました。昨年まで、主任業務を覚えるので精一杯だった自分には、あまりにも重責過ぎて戸惑っておりました。現在は田井主任や豊田主任、そして周りのスタッフの皆様にご支援いただきながら日々の業務をしている状況です。

3病棟看護師 豊田 豊子



4月から3病棟の主任を拝命いたしました。主任看護師として責任の重さをひしひしと感じる毎日であり1日でも早く与えられた責務を果たせるように自己研鑽の継続、職場環境の改善、個別性を尊重した対応などが患者さんへのより良い看護とケアに繋がるよう努めていきたいと考えております。管理職においては不慣れなこともあり皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

新人集合研修会

2025.4.1(火)～4.2(水)
南国病院 会議室

看護部長 小松 匡輔

例年同様、今年も新人集合研修を行いました。たくさんの参加ありがとうございました。今年を対象者が過去数年の中でもかなり多く、医療業界は深刻な人員不足となっている中で皆さんの新規入職者を迎えられたことは大変喜ばしいことと思います。

今年から精神保健福祉士の山本さんに依頼し虐待防止研修を追加しました。令和6年4月1日より、精神保健福祉法が大きく変わっていくつかの変更点がありました。中でも虐待防止措置の義務化、虐待発見者の通報義務は病院職員にとっては大きく関わりがある部分であります。そのため新人研修に虐待防止研修を取り入れることとしました。研修内容も難しくないゲーム要素を多く取り入れたクロスロードを使っての研修で大変好評でした。虐待防止は接遇に通ずるものがあると思います。現状、接遇研修はeラーニングで実施しています。医療・

介護の現場で、専門知識や技術が重要であることは言うまでもありません。しかし、これらがいかに素晴らしいものでも対応一つで不信感を与えてしまうことがあります。「技術は良いが不愛想であったため不安になった」や「声掛けの仕方信頼感をなくしてしまった」といった投稿が様々な口コミサイトでよく見受けられます。

「接遇マナー」は、専門知識や技術に並ぶ重要な要素です。相手の状況や立場を察知し接する「接遇マナー」を、医療・介護に携わるスタッフがしっかりと身につけることで、より素晴らしい医療・介護サービスを提供することができます。そのため、今後は講師を招いての接遇研修も計画していきたいと思えます。

こちらからも研修プログラムを適時アップデートしていき、新入職員を病院全体で支えていけるよう努力を重ねていきます。

ニューフェイスの紹介

【 看護部 】

2病棟 准看護師 脇 美枝

施設での経験が少し長かったが、病院で働きたいという思いがあり南国病院で働きだし2ヶ月半が経ちました。日々業務や技術など覚える事が多く、忙しい日々を過ごしています。2階特殊疾患病棟で勤務しています。恥ずかしながらこの年になって初めて見る物、経験する事ばかりでついて行くのに必死ですが、病棟全体で先輩方が指導して下さるので少しずつできる事が増えてきました。看護する中で知識不足を痛感し、患者さんのみならず自分を守るためにも、勉強し続けなければならないと日々感じています。今後は1日でも早く慣れ頑張りたいです。



2病棟 看護補助者

ヴィリヤノス アレアメイ モンティファル

令和7年4月14日に入職しました。2病棟の看護補助者です。

メイと言います。フィリピンから来ました。

フィリピンの日本語学校で6ヶ月間、勉強しました。日本語と英語の介護を勉強して試験を受けて合格しました。

今年の1月に日本語能力試験に合格しました。現在、日本語資格取得に向けて勉強中です。

私は日本に来て2年です。



3病棟 看護師 横田 明日香

3月1日付けで3病棟へ入職いたしました横田と申します。前職では重度障害者病棟で勤務しており、神経難病や人工呼吸器管理の患者様の看護業務に従事していました。これまでの経験でも患者様との関わりのなかで完治困難な疾患を抱え、患者様はもちろんご家族の不安は大きく、看護師として患者様とご家族に寄り添った対応が大切になっていくと感じており、病院理念でもあります、信頼関係に基づき暖かい医療を提供するということを念頭に、従事していきたいと思えます。また、研修への参加にもとても力を入れているとうかがい、自分自身のスキルアップ、専門的知識技術の向上のため積極的に自己研鑽に努めることを目標に頑張りたいと思えます。



3病棟 看護師 滝口 歩

3月より入職し、特殊疾患病棟で勤務しています。これまで一般病棟で勤務してきました。初めての分野であるため知識はまだまだ足りませんがスタッフの皆様丁寧に指導していただいているおかげで少しずつ業務にも慣れてきました。これまでの経験を活かしながらいままでも以上に患者様に寄り添った看護を行えるよう日々精進していきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻の程よろしく願います。



5病棟 看護師 松村 優子

私は以前、南国病院で働かせて頂いていました。残り少なくなった現役時代最後を、笑顔で働かせて頂きたいという想いがあり、このたび13年振りに南国病院でお世話になることとなりました。色々代わり、戸惑うことばかりですが、職員の笑顔は患者様の笑顔に繋がると信じて、基本の笑顔を忘れる事なく、患者様に向き合える様、努力していきたいと考えています。



5病棟 看護師 山崎 明

今年の3月に5病棟に採用されました山崎明と申します。これまでいくつかの精神科病院で働いてきました。そこで培った経験を活かす



と共に一日も早く新しい職場に慣れて、患者様のために働きたいと思っています。よろしく願います。

5病棟 看護師 南部 結花

4月から精神科病棟で看護師として勤務しています。まだ慣れないことも多いですが、少しずつ環境の変化にも馴染んできたところです。患者さん一人ひとりの思いやペースに寄り添いながら、安心して過ごしていただけるような関わりを大切にしていきたいと思っています。これから日々の業務の中で学びを深めたり、チームの一員としての役割を果たしたりしながら、よりよいケアができるよう努めていきます。更に、自身の成長にもつなげていきたいです。



外来 看護師 大高 綾香

令和7年5月より外来に入職しました、大高と申します。



これまで外科病棟、一般内科外来にて勤務してきました。精神科、脳神経内科領域での勤務は初めてなので分からないことだらけですが、日々勉強しながら優しい先輩方のもと楽しく働かせて頂いています。

外来では患者さんと関わる時間は短いですが、その中でも安心して診察を受けられるような関わりを行っていききたいと思えます。

至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることも多いと思えますが、精一杯頑張りますのでよろしく願います。

【 事務部 】

医事課 岡林 知穂

4月1日よりこちらの病院医事課で働かせて頂く事になりました岡林と申します。



他院でも医療事務に従事しておりましたが、脳神経内科・精神科での医療事務は初めての経験となり知識不足を感じております。一日でも早く一人前のスタッフになれます様努めてまいります。

至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導よろしく願います。

診療のご案内

ホームページもご覧ください
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

診療科目	◆脳神経内科 リハビリテーション科	◆精神科	休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
	◆内科	◆消化器内科	予約診療	全科予約診療となっております
	◆放射線科		救急指定	なし
診療時間	月～金	午前 8:30 ～ 12:30 午後 1:30 ～ 5:00	健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
	土	午前 8:30 ～ 12:30	面会時間	感染状況により、面会方法が変更になります。 詳細はホームページにてご確認ください。

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土	
午前	脳神経内科	三好	中澤	吉村	中澤	三好	中澤 古谷 ※5
	精神科	藤田	石田	玉元	玉元	小松	中澤 小松 ※6 ※7
	内科 消化器内科	速瀬	速瀬 10:30まで 中城 10:30以降	中城 麻植 (啓)	速瀬 麻植 (啓)	速瀬	速瀬 中城 麻植 (啓) ※1 ※2 ※3
午後	脳神経内科			吉村 ※4	三好	古谷 ※5	
	精神科	玉元 赤松	玉元	石田	河合	石田	
	内科 消化器内科	速瀬	中城 麻植 (淳)	中城 麻植 (淳) (禁煙外来あり)	麻植 (淳)	速瀬	

備考

※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。
 ※2 中城医師の土曜日の診察は、第2・第4土曜日です。
 ※3 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第5土曜日です。
 ※4 吉村医師の水曜日午後の診察は、第2水曜日です。
 ※5 古谷医師の診察は、連続した最終金曜日・土曜日で再診のみです。
 ※6 中澤医師の土曜日午前の精神科の診察は、再診のみです。
 ※7 小松医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。

■認定・指定

日本神経学会准教育施設
 日本精神神経学会精神科研修施設
 日本老年精神医学会認定施設
 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院
 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

南国病院 理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

■病床数 162床

46床	2病棟	特殊疾患病棟(I)
56床	3病棟	特殊疾患病棟(I)
60床	5病棟	精神一般病棟(15対1)

基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々への奉仕者としての自覚を持ちます。

■診療実績 2024年度

外来患者数	28,021 名
(内新患者)	1,285 名
1日平均入院患者数	149.8 名
精神科デイケア利用者総数	5,021 名
通所リハビリテーション利用総日数	3,652 名
訪問看護ステーションおおそね訪問延人数	6,700 名

発行元/医療法人つくし会 南国病院
 発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
 高知県南国市大塚甲1479番地3
 電話 (088) 864 - 3137 (代表)
 F A X (088) 863 - 3070
 (088) 802 - 8618 (地域連携・医療相談室)

